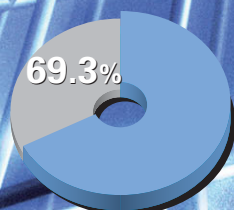


目次

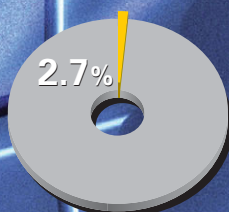
セキュリティサービス事業	15
メディカルサービス事業	16
保険サービス事業	16
情報・通信・その他のサービス事業	17
海外活動	18

売上高およびその他の収入に対する割合\*

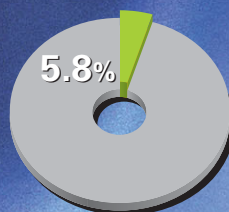
セキュリティサービス事業



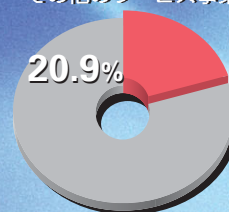
メディカルサービス事業



保険サービス事業



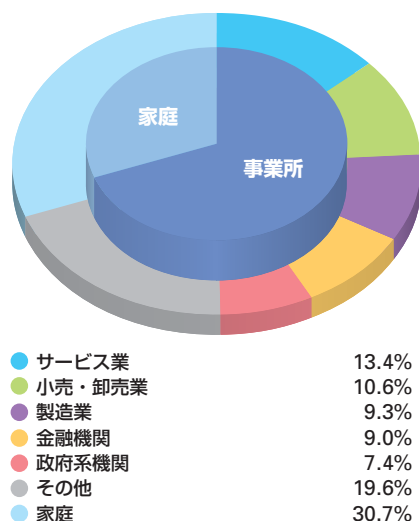
情報・通信・  
その他のサービス事業



\* セグメント間取引を除く。

## セントラライズドシステムの契約先区分

2002年3月31日現在



### セキュリティサービス事業

#### ● セントラライズドシステムおよびローカルシステム契約収入

当期の事業所向け、家庭向けのセントラライズドシステム、およびローカルシステムからの収入は前期比5.8%増の2,479億円となり、売上高およびその他の収入合計に占める割合は前期の50.1%から50.2%となりました。

当部門の基盤であるセントラライズドシステムでは、契約先に設置したセンサーから送られてくる異常情報をコントロールセンターでキャッチすると、管制員が即座に状況を判断し、まず緊急対応員をご契約先に急行させます。また、必要に応じて110番・119番・ガス会社等に通報

し、迅速で適切な処置を行います。言い換えれば、セントラライズドシステムとは、コンピュータと通信回線と人間の機動力が一体となったマンマシンシステムです。こうして、日本中から集められたデータは、コントロールセンターで蓄積・分析されています。

当期も事業所向けに「セコムAX」「セコムIX」など、最先端の画像監視技術や動画伝送技術を取り入れたオンライン・セキュリティシステムを積極的に販売しました。

また、当社の家庭向けセキュリティシステムも、事業所向けと同様に、オンラインでご契約先の家庭とセコムのコントロールセンターを結び、侵入・火災・ガス漏れ・非常通報など

の異常事態に対応して、安全・安心をご提供しています。

当期は、市場急拡大を背景に、順調に契約件数を伸ばしたほか、大手住宅メーカーとの提携により、戸建て住宅に「セコム・ホームセキュリティ」が標準採用され、住環境の安全に敏感な住宅購入者の需要を開拓しました。

ローカルセキュリティシステムとしては、ワイヤレスICカード採用、標準的ネットワーク対応による優れた柔軟性と拡張性を兼ね備えた大規模施設向け「トータックスZETA」を当期に発売しました。

#### ● その他のセキュリティ契約収入

その他のセキュリティ契約収入部門には、常駐警備契約、現金護送契約が含まれます。この部門の売上高は前期比8.0%増の511億円となり、売上高およびその他の収入合計に占める割合は前期の10.1%から10.4%となりました。

#### ● 安全商品およびその他

当社では、CCTV（監視カメラ）システム、出入管理システム、消火システム、屋外・屋内監視システムなどの安全商品のほか、「ココセコム」を提供しています。この安全商品およびその他の売上高は前期比25.3%増の431億円となり、売上高およびその他の収入合計に占める割合は前期の7.3%から8.7%となりました。

2001年4月より販売を開始した「ココセコム」シリーズは、GPS衛

星と携帯電話基地局からの情報を使って小型携帯端末の位置を特定し、お客様の要請に応じて現場に当社の緊急対応員を派遣するサービスです。子どもや高齢者の行方不明、車両の盗難、貴金属などの荷物の盗難にまで対象を広げた画期的なこのサービスは、新たな社会不安に対応するセキュリティとして、その機能と市場でのプレゼンスを向上させています。

また、当期も引き続き、お客様の幅広い安全へのニーズに備え、当社オリジナルの安全機器の改良に注力してきました。

主力商品のひとつとしてお客様からの関心を集めている「スーパーCCTV（監視カメラ）システム」は、カメラへの妨害行為を感知する画策防止機能を備えたカメラとして、コンビニエンスストアや小売店舗の運営監視など、安全面への幅広い用途や目的に寄与しています。

また、出入管理システムとして注目の「セサモNTⅢ」は、カードリーダーとワイヤレスICカード間の交信により電気錠を操作できる点が特徴です。

このほか、片手で楽に操作できる家庭用消火器「トマホークマッハⅡ」、ガス消火剤を採用した高速自動消火システム「トマホークⅢ」、機械式立体駐車場向け自動消火システム「トマホークPS」などを販売しています。

### メディカルサービス事業

当期のメディカルサービス事業の売上高は、前期比2.1倍増の135億円となり、売上高およびその他の収入合計に占める割合は前期の1.4%から2.7%となりました。

医療事業部門をセコム(株)から分割後、医療系子会社の3社を統合することにより誕生したセコム医療システム(株)では、シームレスで一貫したより質の高いサービスの提供が可能となりました。

当期も、医療保険・介護保険適用の訪問看護ステーションの開設地域を拡大しました。同ステーションでは、点滴や呼吸器装置などを必要とする医療依存度の高い患者さんを対象に、従来行っている訪問看護サービスのほかに、介護保険の訪問看護にも対応しています。その他のサービスとしては、遠隔画像診断支援サービス「ホスピネット」、診療情報管理・共有を支援する「セコム・ユビキタス電子カルテ」などを販売しています。

### 保険サービス事業

当期の保険サービス事業の売上高は、前期比23.4%増の288億円となり、売上高およびその他の収入合計に占める割合は前期の5.0%から5.8%となりました。

セコム損害保険(株)は、公的医療保険でカバーされていない最新のガン治療にかかった費用も補償する自由診療保険「メディコム」の販売を開始しました。そのほか、当期も引き続き自動車保険「セコム安心マイカー保険」や事業所向けの「火災保険セキュリティ割引」、家庭総合保険「セコム安心マイホーム保険」など、セコムならではの魅力的な商品の販売に注力しました。

## 情報・通信・その他のサービス事業

当期の情報・通信・その他のサービス事業の売上高は、前期比11.6%増の1,033億円となり、売上高およびその他の収入合計に占める割合は前期の19.8%から20.9%となりました。

### ●情報系事業

情報系事業では、セコム情報システム(株)が、企業のネットワークシステムの企画から、開発、運用、保守に至るサービスのほか、セコムグループの情報通信ネットワークとイントラネットの設計・構築・運用を行っています。

セコムトラストネット(株)は、「電子認証サービス」「有人監視サービス」「セキュリティコンサルティングサービス」など、さまざまなサイバーセキュリティサービスを提供しています。「電子認証サービス」では、「セコムパスポート for Web」や「セコムパスポート for Member」などPKI(公開鍵暗号基盤)の整備を強力に推進し、インターネット利用環境に高い信頼性を提供しています。「有人監視サービス」は、「セコムウイルス監視サービス」や「セコム不正侵入検知サービス」など、ネットワークの安全性と安定性を確保するために、24時間監視・報告するサービスです。「セキュリティコンサルティングサービス」では、情報ネットワークのリスク管理のための分析・評価・診断を実施し、解決策を提案しています。同

社では、サイバーセキュリティサービスだけでなく、「ネットワーク構築サービス」やWebの特性を最大限に活かした情報利用とシステム運営をサポートする「Web アプリケーションサービス」なども提供しています。

当期、セコムトラストネット(株)は、企業向けに「電子帳票化保存サービス」を提供しました。企業の重要データを電子化して長期間預かり、必要なときにネットで配信するもので、各企業が自前で導入する場合より省コストになることも魅力のひとつです。

### ●地理情報サービス事業

航空写真測量とGIS(地理情報システム)の分野で最大手の(株)パスコが、GIS技術に基づいたサービスの提供に注力しています。民間企業を対象とした「経営ナビゲーションサービス」は、統計データや企業内に蓄積された顧客情報などを電子地図に取り込み、トップマネジメントの経営分析から営業や顧客サービスなどの日常的な業務支援まで、あらゆるビジネスシーンで企業の経営活動をサポートするサービスです。このサービスは、使用権許諾方式の長期サービス提供契約の形態をとり、低価格で、継続的に最新の地図コンテンツの利用を可能にしています。また、住民サービスにフォーカスした自治体向けの統合型GIS「PasCAL(パスカル)」は、デジタル地図をベースにあらゆる情報を最適に統合するシステムです。

### ●教育事業

コンピュータ教育分野のパイオニアであるセコムラインズ(株)は、「学校向けの教室内LANシステム」や「インターネット学習用ソフト」の普及に、当期も引き続き注力しました。

### ●不動産事業

セコムホームライフ(株)は、数多くの実績とノウハウを有するマンション開発力と、セコムグループのセキュリティをはじめとするメディカル・情報・保険などのサービスとを融合し、安全・安心を重視した付加価値の高いマンションの開発・販売に、引き続き取り組みました。

## 海外活動

セコムでは「安全は人間や社会が普遍的に必要とするものである」と考え、1978年の台湾を皮切りに、1981年には韓国と米国でもセキュリティ事業を始めました。以後、アジアではタイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、中国、ヨーロッパではイギリス、オセアニアではオーストラリアと、計10の国と地域で事業を展開し、各地で高い評価を得てきました。

セコムグループの海外セキュリティ事業の特徴は、国内で培ったノウハウを十分に活かしつつ、セコム方式のセキュリティシステムをその国や地域の事情に応じて柔軟にカスタマイズして

いる点にあります。これにより、セコムグループのセキュリティは言葉や文化の違いを超えた幅広い支持を受けています。

そのほか、情報系事業において、最近の中国におけるIT市場の発展、特にサイバーセキュリティの急速な伸長に対応すべく、北京セコムインフォメーションテクノロジー社を設立、サイバーセキュリティ商品を中心とする販売およびカスタマイズサービスを実施しています。

